さいたま市立中央図書館

テーマ資料展示ブックリスト

本の世界へ

浦和パルコでは、「本とカルチャー」をテーマにした

「PARCO BOOK & CULTURE WEEK」を

8月8日（土）～8月23日（日）まで開催します。

そこで、今回の展示では、本の書評や読書術、書店を舞台に

した小説など、「本」にまつわる本を集めてみました。

暑い夏、本の世界に足を踏み入れてみませんか。

編集・発行　令和８年８月

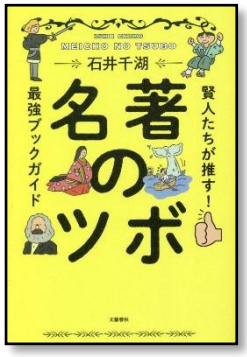
さいたま市立中央図書館

書評・ブックガイド

◆『来たよ!なつかしい一冊』
池澤夏樹／編　寄藤文平／絵　毎日新聞出版　2024 年

◆『大人の知的好奇心を刺激するすてきな読書。』
マガジンハウス　2023 年

◆『読んで旅する海外文学－24 の国と地域の旅行記×77 冊の読書ノートー』
重松理恵／著　大月書店　2023 年



◆『千年の読書－人生を変える本との出会い－』
三砂慶明／著　誠文堂新光社　2022 年

◆『名著のツボ－賢人たちが推す!最強ブックガイド－』
石井千湖／著　文藝春秋　2021 年

図書館・本にまつわる本

◆『絵で見る日本の図書館の歴史』
堀切リエ／文　奥泉和久／監修　いしいつとむ／絵　子どもの未来社　2025 年

◆『書物の時代－読書がひらいた日本近世－』
若尾政希／著　岩波書店　2025 年

◆『江戸の読書図鑑－江戸っ子が親しんだ本の世界－』
飯田泰子／著　芙蓉書房出版　2025 年

◆『書庫をあるく－アーカイブの隠れた魅力－』
南陀楼綾繁／著　皓星社　2024 年

◆『一生に一度は行きたい世界の美しい書店・図書館』
宝島社　2023 年

読書術

◆『本が大好きになる図書館の使い方－読書を最高のエンターテインメントに－』
つのだ由美こ／著　秀和システム　2025 年

◆『ゼロからの読書教室－苦手な読書が好きになる!－』
読書猿／著　北澤平祐／絵　NHK 出版　2025 年

◆『「知る」を最大化する本の使い方－ひと目でわかる図解付き!－』
ぶっくま／著　翔泳社　2024 年

◆『読書脳』
樺沢紫苑／著　サンマーク出版　2023 年

◆『「読む」だけで終わりにしない読書術
－1 万冊を読んでわかった本当に人生を変える方法－』
本要約チャンネル／著　アスコム　2021 年

本をつくる・届ける

◆『本ができるまで　カラー版　増補版』
岩波書店編集部／編　岩波書店　2025 年

◆『さあ、本屋をはじめよう－町の書店の新しい可能性－』
和氣正幸／監修　P ヴァイン　2024 年

◆『本屋のない人生なんて』
三宅玲子／著　光文社　2024 年

◆『訳して、書いて、楽しんで－エヴリシング・ワークス・アウト－』
村井理子／著　CCC メディアハウス　2024 年

◆『ひとり出版入門－つくって売るということ－』
宮後優子／著　よはく舎　2022 年

図書館・書店が舞台の物語

◆『書店員は見た!－本屋さんで起こる小さなドラマー』
森田めぐみ／著　大和書房　2024 年

◆『図書館がくれた宝物』
ケイト・アルバス／作　櫛田理絵／訳　徳間書店　2023 年

親を亡くし、親代わりの人を見つけるため疎開した三兄弟が、辛い生活の中で図書館に救われる心あたたまるお話。

◆『教室に並んだ背表紙』
相沢沙呼／著　集英社　2020 年

学校の図書館を舞台に、思春期の不安や悩みを繊細に描いた全 6 編の連作短編集。

◆『お探し物は図書室まで』
青山美智子／著　ポプラ社　2020 年

◆『夢見る帝国図書館』
中島京子／著　文藝春秋　2019 年

◆『図書館ねこベイカー&テイラー－小さな町に奇跡を起こした 2 匹の物語－』
ジャン・ラウチ／著　ライザ・ロガック／著　羽田詩津子／訳　早川書房　2016 年

◆『書店主フィクリーのものがたり』
ガブリエル・ゼヴィン／著　小尾芙佐／訳　早川書房　2015 年

島に一つの小さな書店で、毎日一人で本を売る店主のフィクリー。
妻を亡くし、本を盗まれ、全てを失ったと思っていたフィクリーだったが、
ある日捨て子の少女マヤに出会い人生が一変する。

このリストに掲載している図書は、さいたま市図書館で所蔵しています。
貸出や予約（順番待ち）ができます。
さいたま市図書館ホームページ https://www.lib.city.saitama.jp/
さいたま市立中央図書館　浦和区東高砂町 11-1
TEL 048-871-2100　FAX 048-884-5500

このブックリストの書影画像は BOOK データ ASP から引用しています。